



# 虹の架け橋

平成30年12月14日  
印西市立西の原小学校  
校長室便り No. 17

## 今西乃子さんの命の授業

～誰かを幸せにすることは自分を幸せにすること～

12月12日(水)、4・5・6年生を対象に児童ノンフィクション作家である今西乃子先生による「命の授業」が行われました。校長室だより No.16 では、全校朝会で今西先生の著書「ゆるるしっぽの子犬・きらら」の話を中心に行ったことをお伝えしました。

今回、今西先生は、目の下を深く傷つけられ、後ろ足の2本とも足首から下を切断された未来という犬の話をしてくださいました。未来は、動物愛護センターで殺処分をされる一歩手前でペットシッターである山口麻里子さんに助けられ、今西先生という飼い主さんを得ることができた犬です。

今西先生は、実際に取材した動物愛護センターで殺処分される動物の画像を見せてくださいました。何の罪もない動物たちが殺されていく画像を見て、息をのむ子どもたち。体育館は静まり返り、今西先生の声だけが響きます。なぜ、罪もないのに殺されなければならないのか、そこに人間のエゴイズムがあることに、子どもたちは気付きました。動物を殺すのも人間、救うのも人間・・・

山口さんは、もっとかわいい子犬がいるのに、なぜ、虐待をされひどく傷ついた子犬を引き取ったのでしょうか。それには理由がありました。山口さんには、飼い猫のオルガを、両足を切断するという交通事故により安楽死をさせてしまったという過去があります。そのことが、ずっと山口さんを苦しめてきました。謝りたいのにオルガはいません。オルガを死なせてしまった自分を許せずずっと苦しんできたのです。だから、傷ついた子犬を幸せにすることで自分を救いたいと思ったのです。「ごめんなさい」をいうひどい自分は嫌いだ、「ごめんなさい」を繰り返したくない、そんな思いで未来を引き取り、けがの手当てをして飼い主さんが見つかるまで大事に育てたのです。

飼い主さんとなった今西さんも、未来を大切に育てました。その未来が、サプライズプレゼントとして西の原小学校に来てくれました。体育館は騒然となり、子どもたちから歓喜の声があがりました。実物の未来は、毛並みがよく穏やかで愛らしい犬でした。



今西さんが子どもたちに伝えたかったこと。それは、「誰かを幸せにすることは、自分を幸せにすること」です。優しい心で接すれば、相手も優しくなります、反対に意地悪な心で接すれば、相手も意地悪になります。虐待された未来は、人間をうらみ憎んだでしょうか。人間に復讐しようとは思わなかったのでしょうか。復讐しても誰も幸せにはならないのです。未来はもう一度人間を信じようと思ったのです。だからこそ、山口さんに引き取られ、今西さんに育てられているのです。

小さな命をピカピカにすることは、自分の命もピカピカになること。誰かをボロボロにすることは、自分自身をボロボロにすること。最後に、今西さんは「命を捨てるのも人間、救うのも人間。どちらの大人になったほうがみんなは自分を好きと言えますか？幸せって思えますか？」と問いかけました。

90分、休憩なしの授業でした。子どもたちは、画面に見入り、今西先生の話に聞き入り、未来の登場には歓声を上げました。体育館を出る時には、未来の頭や体を撫で「かわいいね」「温かいね」「柔らかいね」などと声をかけていきました。子どもたちは、未来の体温から生きている命を感じ取ってくれたのではないのでしょうか。本当だったら殺処分されるはずの命だったのです。



## 子どもたちは…

(前略) 命の授業で、始めに殺される前の犬を見て、どうして同じ命なのに幸せになれない犬がいるのか、人間が責任をもって飼わないということは命を大切にしないことだ、ということ学びました。ぼくは、命を捨てる人間と救う人間だったら、救う人間が幸せになれると思います。ぼくは、救う人間になり幸せになりたいです。( I )

(前略) 私はものすごくたくさんの動物が殺処分されていることが、とてもショックで悲しかったです。でも、未来ちゃんにあって、傷ついても死んでしまっても、人間が大切に愛情をもって育ててあげれば、キラキラ輝く犬になれると思いました。私も里親として3年前から柴犬を飼っているので、未来ちゃんに負けなくらい幸せにしたいです。そして、周りの人を幸せにして、自分も幸せになりたいです。( T )

命の授業の後、子どもたちは今西先生に手紙を書きました。手紙から、子どもたちが受け止めた先生のメッセージが読み取れました。命の重さや、誰かを幸せにすることは、自分を幸せにすることになることが、子どもたちの文章から感じ取れました。一部を紹介します。

(前略) 人の心をボロボロにするのかピカピカにするのか決めるのは、自分自身だと学びました。ぼくは、人の心をピカピカにする人になりたいです。( R )

私は今回の授業を受けて、人間の力はすごいと思いました。少しの行動で命を捨てることもピカピカにすることもできるからです。でも、だからこそ、今、目の前にある命を大切にしようと思いました。今、飼っている犬が幸せになるようにちゃんと向き合っていきたいです。( Y )